

第105回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

損	益	消	耗	品	費	発	送	費	現	金
固定資産売却損	売	上	仮	受	金	未	収	入	金	
売掛金	前	受	金	当	座	預	金	車	両	運
前払金	通	信	費	資	本	金	受	取	手	形
買掛金	仕	入	車	両	運	搬	具	減	価	償
雑損	当	座	借	越	固	定	資	産	売	却
仮払金	益	未	払	金						

1. 笠原商店から商品 ¥ 300,000 を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。ただし、当座預金の残高は ¥ 200,000 であったが、宇野銀行と当座借越契約を結んでおり、借越限度額は ¥ 400,000 である。なお、引取運賃 ¥ 10,000 は現金で支払った。
2. 営業用の小型自動車（取得原価：¥ 2,000,000、残存価額：取得原価の10%、耐用年数：4年）を3年間使用し、すでに3期（決算：年1回）にわたって減価償却をしてきたが、この自動車を ¥ 300,000 で売却し、代金は月末に受け取ることにした。ただし、減価償却費の計算は定額法、記帳は間接法を用いている。
3. 月末に、会計係は、小口現金係から本月分の小口現金の支払高について、次のとおり報告を受けたので、ただちに、小切手を振り出して資金の補給をした。ただし、定額資金前渡法を採用している。
 - ・通信費：¥ 40,000
 - ・消耗品費：¥ 20,000
4. 孫商店に商品 ¥ 300,000 を売り渡し、代金は内金 ¥ 50,000 を差し引き、残額は同店振出しの約束手形で受け取った。なお、発送のための諸費用（当店負担）¥ 10,000 は現金で支払った。
5. 損益勘定の記録によると当期の収益総額は ¥ 300,000 で、費用総額は ¥ 200,000 であった。この差額を資本金勘定に振り替えた。